大精建設株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	大精建設のSDGsの取り組み 建設業は人々の暮らしに大きく深くかかわりあっている業界であり、近年建設業の働き方も大きく変わろうとしています。その為、当社では従業員の働きがい・満足度を高める経営を目標に、建設業を盛り上げていこうという気持ちをもって日々仕事に取り組んでいます。 特に当社が重点的に取り組んでいることが、働きがいのある職場環境の実現です。社員一人一人の健康面はもちろん、資格取得に関する積極的なサポートによるスキルアップを図り、社員一人一人の能力及び社会貢献を可能にする能力強化を実現することです。また、建設業を通じて、人々が安心・安全で幸せに暮らせる社会づくりを目指しています。			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	3.4.5.8.10	年齢、障害、その他の状況に関わりなく、社員全員の健康的で、完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を実現する。	改正健康増進法を遵守した禁煙の実践及び受動喫煙対策も可能な職場環境を創出する。 ・健康診断受診100％の継続 障害者雇用の推進 ・全社員のうち障碍者の割合 0％（2021年）→25％（2023年）
	社会	11.12	廃棄物及びCO2排出を削減し、環境上の悪影響を軽減することに貢献する。	廃棄物の管理の徹底 ・社内で排出される廃棄物及び工事現場内にて発生する廃棄物を現状より5％カット（2022年度）する。 社内、現場における再生紙や裏紙の利用の推進 ・70％（2021年度）→80％（2022年度）
	環境	11.17	建設業を通じて「持続可能な社会の実現」を目標に、パートナーシップで地元密着型企業として、その実現に貢献する。	職場見学の実施 ・1回/年→2回/年 現場見学の実施 ・2回/年